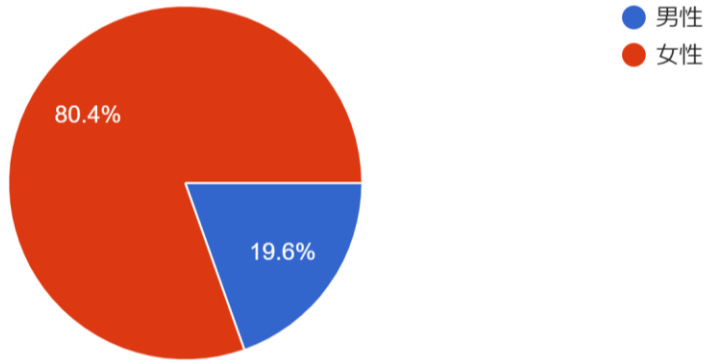


# アンケート結果

## 第4回島原市在宅医療・介護連携セミナー

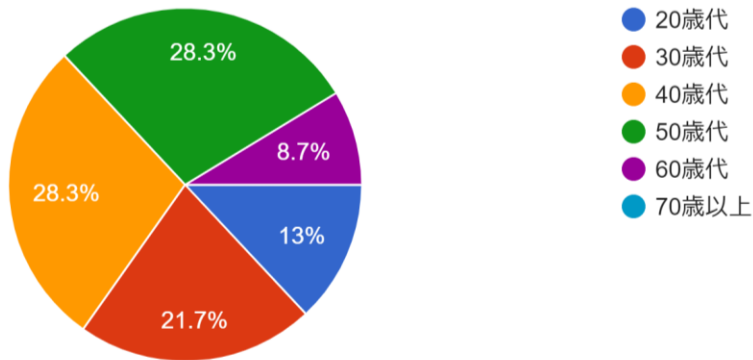
### 1、性別

46件の回答



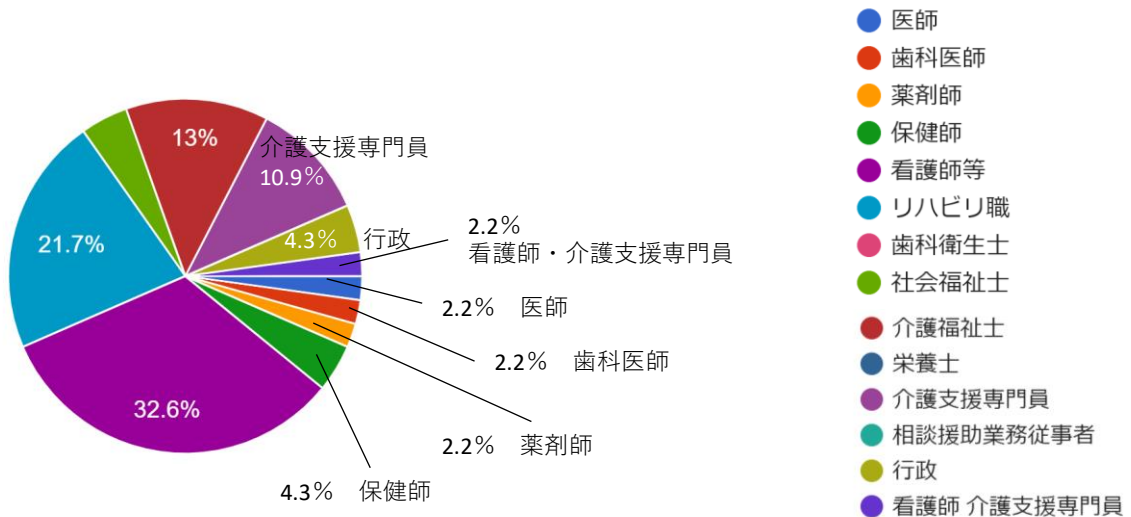
### 2、年代

46件の回答



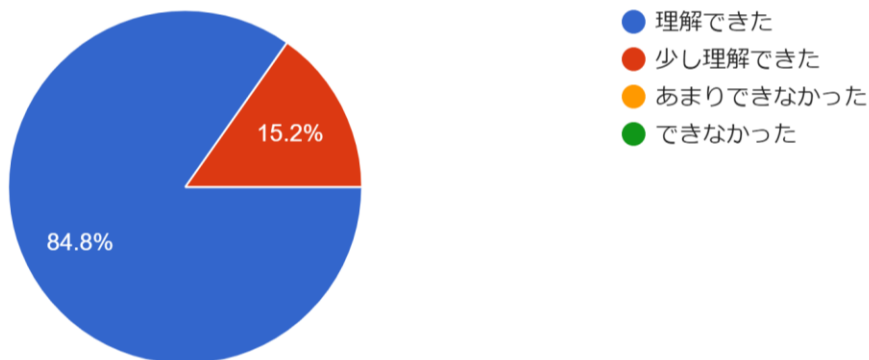
### 3、職種：現在従事している主となる職種（一つ選択）

46件の回答



#### 4、本日の講演会の内容は理解できましたか。

46 件の回答



#### 講演を聞いての感想をご記入ください。

1. ありのままを受け止めて一緒に悩み苦しむこと、と聞いてすごく感銘を受けました
2. 看取りやスピリチュアルにとっても興味を持っております。今後もっと学んでいきたいと思えます。
3. スピリチュアルペインに対する関わり方について、考える機会を与えていただきありがとうございました。
4. わかりやすかった
5. 今後の看護にいかしていきたいと思えます。
6. ACPに対する理解が深まった。
7. 最期どうしたいか、という結果を求めてしまいがちだが、そこに至るまでの過程が大事ということが理解できた。それが、本人にとっても家族にとっても後悔のない過ごし方につながる。
8. "ACPは、どう生きるかを考えること。その視点を大事にしたいです。"
9. 人生の最期を決めるときは、患者本人と家族の思いを一致する事が大切だと思った。
10. 意思決定の支援の方法について、事例を交えて具体的に講義していただき、とても参考になりました。
11. 「死」を考える事は「生きる事」を考える事。まず、自分の事として考え続け、出会った患者様や家族様と一緒に悩み、一緒にが苦しみながら寄り添う看護師でありたいと思えます
12. 大変な時期に本人家族が覚悟を決め決断される以上、私達も真剣に受け止めなければならない。どういう人生を送ってきたかをじっくりと聴いてケアに望みたいと思えます。
13. "本人様の意思を確認しながら、一緒に考えて想いを聴く事が大切である。ありのままを受けとる。"
14. 難しく感じていたACPやスピリチュアルケアを、講義を聞いて近くに感じる事ができた。
15. 言葉の意味が難しいと思っていたが、講話を聴いて理解することご出来ました。
16. 施設では、関わったり考えたりした事ない内容でしたのでとても興味が湧きました。
17. 業務ではありませんが、「何も悪いことをしてないのに何でこんなに苦しい病気になったのかな」と言われたことがあります。その時は何と返してあげていいのかわからずに、体をさすってあげることしかできず、無力感を感じていました。答えのない問いに対して解決してあげる手立てを考えるのではなく、まずは受け止めてそばにいてあげることも、意味のあることだったのだと、少し安心しました。

18. 専門職としての技術や、支援するためのしくみも重要ですが、そのベースに思いや心のようなものがしっかりある必要があると思いました。
19. 自分の家族に置き換えてみました。避けて通りたい問題ですが、きちんと向き合わないといけないと思いました。
20. "先生の心のこもった講演に感激しました。事例が分かりやすく良かったです"
21. スピリチュアルケアという考え方が参考になりました。
22. 宗教家っぽい話だった。話す人によって話す内容が少し違ってするのが面白い
23. 本人を置き去りにせず、本人の意思をきちんと確認することの大切さを学んだ。
24. 認知症があっても意思決定はできる。本人を置き去りにしない、本人を中心としたケアを行うことで、本人にとっても周囲にとっても悔いのない看取りができるよう支援したい。
25. 利用者様、ご家族様ときちんと向き合う大切さがわかりました。
26. "・本人に話を聞く、受けとめることが大事。・答えは出さなくてもいい。事例紹介が良かった。"
27. 人生の最後を自分で考える事が出来る時代なのでその人に寄り添って、一緒に悩む事が出来る様にしていけたらいいと思いました。
28. 本人の意思確認をするのは、難しいけれど本人抜きにしてはいけないことだと感じた。認知症であっても、高齢であっても本人の意思はあるので、他愛もない会話の中からでも聞き出せることがあるのではと思った。
29. 行政職は、本人やご家族の意思決定支援の場に関わる機会がほとんどありませんが、今後の生活の方針を決めて行く際に話を聞いたり、助言したりすることはあるので、そういった場面で、今回の講演で聞いた内容を参考に、まずは傾聴すること、そして本人さんの意思をさりげない会話の中で掘り下げていくことを意識しながら対応していきたいと思いました。
30. 難しい 終末期だけでなくいろんな方への対応方法の意識を変えないといけないと思う

## 5、本日の講話を聞いて普段の業務の中でACPについて取り組めそうなことをご記入ください。

1. スピリチュアルケアは答えを出すことではない、一緒に苦しむこと
2. 何度も繰り返し行っていくことの大切さを学びました。
3. 患者様の気持ちを大事にして傾聴する。
4. 傾聴の大切さを感じました。
5. 講演の中のACPのポイントを参考にしたいと思った
6. みとり後の家族への対応
7. 支援者も、家族も、最期について語ることに對して、縁起でもない、言いにくい話、など、まだまだ“タブー感”があると思います。終活が進めば良いなと思いました。
8. ターミナルの患者さんを担当するときは、常に人生の最期についての思いがあるかわからないので、患者さんや家族の考えを聞き情報共有していきたい
9. 傾聴、受容は真っ白な気持ちできく。
10. いつも、悩んでいました。一人で背負わせない、いろんな職種が関わる大切さを実践したいです。
11. 傾聴につとめたい、本人の思いを大切にうけとめたい
12. 日常業務で行っている、その方の人生の話を本人や家族に聞く事がケアに繋がっていると分かった。継続し、これからの事にも話をすすめたらと思う。
13. 結論でなく過程を大切にできるようにしていきたい。
14. 施設での看取りに関して他職員とも話してみたいと思います。まずは、ACPについて知る事からだと思います。

15. 年齢に関係なく命に関わることに陥ることがある可能性は誰にでもあることを伝えた上で、心づもりについて、こんな状態になったらこうしたい、ということを考えているか？とざっくり聞いてみてもいいのかなと思いました。
16. 患者様の話を、普段から良く聞くことを心がけたいと思いました。
17. 本人を中心に考える支援
18. 独居が困難になってきた患者さんへのアプローチ
19. ACPを会話の中で意識して使えるようにしておく
20. 日頃の関わりや会話から、終末についての意向を確認できるよう心がけたい。
21. 多職種で関わっていくこと。
22. 認知症があっても本人の意思を尊重出来る様、多職種と連携したいと思いました。
23. 本人、家族の意向を確認し、その気持ちに寄り添いながら支援できることを関係者間で共有し同じ目標で支援を行うことはできるのではないかと。
24. 本人さんが意思表示できる段階で、ACPについて考えてもらう機会の創出が大切だと感じたので、業務のなかで市民の方と接する時に終活ノートの紹介などしていけたら良いなと思いました。
25. 業務というより、自分自身のなかでACPの理解よりおさらいする必要がある

## 6、専門職として意思決定をどのように支援していけばよいと思いましたか。

1. その人らしく
2. 医療者考んがえや知識の押し売りをしないこと。
3. 本人とご家族の意思を尊重し、できる限りの情報共有やその他の支援を最大限行なう。
4. 患者や家族によりそってできることを一緒に考える。
5. 傾聴し寄り添う支援をしていきたい。
6. 本人、家族様の思い
7. 本人の思いに寄り添うこと。
8. 患者、家族の思いが一致団結するように支援していけたらと思う
9. 「本人の意思」を確認しながら本人の思いを大切にす。結論を出すことを目標とするのではなく、過程を大切にす。一緒に悩み、苦しむ。
10. その人の生き方、大切にしている事を聞かせていただき、本人の意志確認をし、家族様が悲嘆に陥らない様、根っこを大切にす、意思決定支援をしたいと思ひます。
11. 分かり安い言葉、話しやすい雰囲気を作り思いに寄り添い、支援を考へる
12. 多職種で関わる。
13. 本人の意志を尊重する。多くの家族、専門職を取り込む。
14. 本人が高齢で認知症があるから、意志決定が難しいと思ひ込まず、本人の意見をよく聞くことが大切。家族にも、その事を説明し理解していただくことが大切と思ひた
15. 医療と連携を取りながらご本人やご家族に寄り添った支援をしたいと思ひます。
16. 元気なうちからACPを考へる機会を持ってもらひ、本人の思いを置いてけぼりにしないように、かつ、本人家族がイメージしやすいような表現をざっくばらんに選択肢として提示して、意思決定を促そうと思ひます。
17. 職種としての支援は、これから考へていきたいです。
18. ご本人の人生をご本人が決めていける支援
19. リハでは最初に目標設定やゴールを設定します。そのような感じで常にどのような希望をお持ちなのかを確認していくことが必要なのかと思ひました。
20. 本人がどう思っているのか傾聴し、本人の想ひを大切にすしていきたい。
21. 本人の言葉を引き出す、またそれを確認できる場を設定する。本人や家族に理解できるよう説明を行う。
22. 本人、家族の気持ちや意向を引き出し、その思いを主治医や関係者に伝えること
23. 専門性を問ひられると難しい、まず、いち人間として関わる事が支援の1つと思ひ取り組みたい

## 7、研修を受けた感想や意見、今後受きたい研修内容などご自由にご記入ください。

1. ACPが死の選択ではなく、最後まで自分らしい生き方の選択と多くの人が思えるような学びの機会は、ACPを普及していくなかで、大切だと思います。
2. この研修を受けて良かった
3. ありがとうございます。
4. グリーフケアについて、学びたいと思います。講師は原先生♪
5. 実際に、どう話していくか実例がとても分かりやすかった。
6. とてもわかりやすかったです。
7. 本日のご講演、ありがとうございます。
8. 非常に参考になりました。ありがとうございます。
9. 引き込まれる内容でした。
10. 家族も悩み辛い思いをしていると思うが家族への支援についてもお聞きしたかった。
11. 独居で見取りは可能なのか
12. 死と向き合わずして支援はできないと思った。覚悟を持ってACPに関わりたい。
13. 初めてのスピリチュアルケア専門臨床宗教師の講演による研修は興味深く話を聞く事ができました。
14. たくさん病院はあるけれど、原先生のように本人や家族の意思決定して支援をしてくれる先生は少ないように思います。原先生のような在宅の先生が増えると自宅での看取りも増えていくのではないかと思いました。
15. 専門職の方に、なぜ意思決定支援が大事なのか、具体的なケースを通じて実感していただける良い機会だったと思いました。良い先生をご紹介いただきありがとうございました。
16. "今後受きたい研修→現場に沿った うまく伝えられないが研修がすごく勉強なるが理想めいたことしか感じない"